

成人を迎えて

圓谷 香菜



この度、晴れて成人式の日を迎えることができ、大変うれしく思います。毎年、今年はその先輩方が成人を迎えるのかと考えていたこの時期ですが、ついに自分自身が成人式の主役になる年が来たことにとっても驚いています。私は今年の二月に二十歳の誕生日を迎えます。今までの思い出を振り返ってみると、本当にたくさんの人に支えられて過ごしてきたのだと改めて感じました。私は、とてもわがままでたくさん迷惑もかけてしまっていたと思います。それでも私のやりたいと言ったことを尊重してたくさん応援し、励まし続けてくれた両親には感謝がありません。いつも寄り添ってくれる家族、遊びに行くと笑顔で迎えてくれる親戚の方、愛のある指導をしてくださった先生方、学生時代の思い出を作ってくれた友人たちに、感謝の気持ちを伝えたいです。

私は現在大学に通っており、一人暮らしをしています。今になって両親が与えてくれていたことの偉大さに気づき、感謝と尊敬の気持ちでいっぱいです。思い返すと、家族で過ごして

いた頃の何気ない日常の思い出はとても温かく、今でも心の支えとなっています。私の振袖姿を一番楽しみにしてくれていた母にその姿を見てもらうことは叶いませんでしたが、見守ってくれている母に立派な大人になったなと思ってもらえるように、そして「毎日楽しいよ、充実しているよ」と言えるような時間を過ごしていきたいです。

私には、こんな大人になりたいという理想像がいくつかあります。時間を大切に過ごすこと、思いやりを持って人とのつながりに感謝すること、自分で決断しその決断に責任を持つこと、いろいろな物事に興味を持つことなど、他にもたくさんあります。今の私はまだまだ未熟で理想の自分には程遠いですが、少しずつでも近づけるように努力していきたいです。やりたいことにチャレンジできる環境に感謝しその経験を自分の人生の糧にしていけるように、そして自分の人生を好きだと言えるように過ごしていきたいです。